

# 広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111【代表】

## 人口

—11月30日現在—

9,140人	男	4,449人
	女	4,691人
世帯数	2,585	
転入	28	出生 9
転出	13	死亡 7

## おめでた おくやみ

S58.11.16~12.15 受付

出生	
(住所)	(出生児)(性別)(出生年月日)
下町	吉丸 優子 孝 男 S58.9.16
上在	下田 桂一 康 弘 〃 〃 11.9
旭通	中原 康子 千 晴 女 〃 〃 11.12
下町	岩本 徳光 沙 耶子 〃 〃 11.14
前原	後藤 廣一 勇 樹 男 〃 〃 11.17
西中原	榎木野 繁英 慎 〃 〃 11.19
昭和	阿南 良市 望 〃 〃 11.22
天神	甲斐 光昭 恵 女 〃 〃 11.26
上野	牛嶋今朝年 奈 希沙 〃 〃 11.29
河原	野尻 昭敏 鮎 幸 〃 〃 11.30
	大西 六三 博 男 〃 〃 12.8

死亡	
(住所)	(遺族)(続柄)(死亡者)(年齢)(死亡年月日)
冬野	後藤 末義 母 後藤 マサオ 87 58.11.18
上町	吉岡 恭子 伯母 桐原 トヨ 78 11.11
〃	藤野 嘉三 養母 藤野 セツ 88 11.25
村山	本田 清隆 祖母 本田 マツヲ 88 12.3
下町	岳 リツヲ 夫 岳 昌信 57 12.5
森留	相馬 一男 母 相馬 モトエ 89 12.9
津	田崎 孝義 父 田崎 茂 89 11.27
〃	中根 忠 妻 中根 シンゲキ 72 11.27

結婚	
(氏名)	(住所)(婚姻届年月日)
(夫妻) 津留 須磨子 秋 利 白 水村 白 川 58.11.18	
(夫妻) 津留 博 〃 〃 旭通 〃 〃 11.18	
(夫妻) 立山 滋美 菊 池部 泗水 下町 〃 〃 11.24	
(夫妻) 岩下 隆春 高 森 旭通 〃 〃 11.29	
(夫妻) 色見 継幸 色 河 高 鹿 本 郡 植 木 町 〃 〃 12.4	
(夫妻) 堀 憲康 生 子 高 色 草 〃 〃 12.10	
(夫妻) 佐藤 昭 小 国 〃 〃 11.21	

## 俳句

画架を立て晴るるを待ちて冬の根子  
納め句座若き句友に加はりて  
藁小積田地豊かに年暮るる  
茜さす阿蘇ヶ嶺わたる初鶉  
山の幸くさぐさ届く年の暮  
研修の窓辺やさしき冬日射  
子等集うことを励みに年用意  
賀状書く人それぞれに懐しく

山村 純女  
熊谷こう女  
弥永 路子  
内田 文子  
松岡 信子  
桐原 寿  
林 久恵  
柴田ふい子

## 肥後狂句

外は雪 芋田楽にゃ良か季節  
し過ぎ 注射で生きつとらすだけ  
ほんなこて 着物一枚ア違う阿蘇  
あなたまかせ 三途の川も二人連れ  
申し訳無ア 俺ア一票しか持たん  
外は雪 孫借りイ来る隠居部屋  
申し訳無ア また留年の如たる僕  
申し訳無ア 素通りしとるまむし酒  
外は雪 この日の為のミンクたい  
外は雪 卯酒でんせんか媽  
外は雪 ゲレンデはさぞ芋洗ア

山村 不覚  
林 不忘  
篠田 凡才  
馬原 馬笑  
二子石探訪  
岡本 琴司  
松野 笑声  
林田 一声  
石田 詩朗  
田上黙公子  
浦塚 南天

## 町民文芸

癒える日のなき病棟に冬の月  
降る雪をもてなしとして阿蘇に住む  
年の瀬や読みたき本は山積みに

古庄 泰子  
平田るり子  
山村ふみ子

## 伝承あそび

正月の子どもの遊びといえは、たこ揚げ、こま回し、羽根つき、かるた、福笑いと相場が決まっています。近ごろあまり見かけないなと思ひ、面白いものついでにおもちゃ売り場をのぞいてみました。ありました、かわいい絵が書いてある羽子板、肥後こまなど。これらの伝承あそびもまだまだ健在のようです。

国鉄高森線を利用しましょう



第293号 1月 昭和59年

## おもな内容

- 新年のごあいさつ(町長・議長).....(2)
- 高森峠バイパス一部開通.....(3)
- 私が考えるこれからの町づくり  
(新春座談会).....(4)(5)
- 私たちは子年生まれ(一口インタビュー).....(6)(7)
- 高森百景(御成山).....(9)

休日在宅医	1月3日	1月8日	1月15日	1月16日	1月22日	1月29日	2月5日
平田	田原	馬原	東原	寺崎	立野	渡辺	後藤
0126	0064	0030	0030	0037	0011	0017	0019
院	院	院	院	院	院	院	院

診療は午前9時から午後5時まで

## ◎老人クラブ

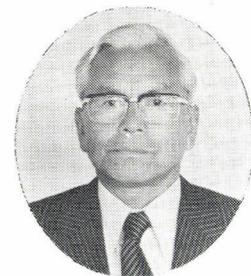
- ▽高森村山の本田清隆さんから「清山会」へ金一封
- ▽高森上町の藤野嘉三さんから「万年青会」へ金一封
- ◎その他の寄付
- ▽高森の老人クラブ「昭和会」から高森中学校へぞうきん多数
- ▽津留新町の中根家から野尻中学校へ金一封

## ◎町社会福祉協議会

- ▽河原の後藤昭敏さんから(父、一二さん・79歳死去)
- ▽高森旭通の後藤堅二さんから(養父、仏さん、74歳死去)
- ▽高森下町の岳リツヲさんから(夫・昌信さん・57歳死去)
- ▽高森上町の藤野嘉三さんから(養母、セツさん・88歳死去)
- 一般寄付として
- ▽老人クラブ「草部福寿会」から金一封
- ▽大阪府枚方市在住の松木孝さんから金一封(故松木ケイさんの遺産の一部として)

(一) (寄) (付)  
ありがとうございました

# 新年のごあいさつ



新年おめでと  
うございます。

町民の皆様には  
清々しく新春を  
お迎えのことと  
心からお喜び申  
し上げます。ま  
た、昨年は町長  
に就任して以来  
皆様方には心か

らのお力添えとご  
支援を賜わり、衷  
心から感謝申し上  
げます。

さて、私が就任以来心がけてま  
いりました「対話の政治の実行」  
と「活力ある町づくり」も逐次軌  
道に乗り、そのための事業も順調  
に進ちよくすることができまし  
た。特に、本町は過疎化の影響で  
人口が合併当初に比べ三分の一ほ  
ど減少し、九千人を割る状況にな  
りました。そこで、これらに対応

するための政策が急務であり、産  
業基盤の確立を図るための施策と  
交通網の整備に力を入れて推進し  
ているところであります。

昨年からは新林業構造改善事業  
による林道や山村広場（町民グラ  
ウンド）の着工、池の迫農免道路  
（中村一祭場）の整備促進、さら  
には第二次広域農業開発事業にも  
着手して、本格的な畜産基地づく  
りをめざしております。また、国  
道バイパスの建設は、本町発展の  
うえから不可欠のものだと信じ、

## 対話による町政遂行

高森町長 瀬井浪夫

関係者の皆様にご  
協力をお願いし  
て、積極的に取り  
組んでいるところ  
ですが、おかげさ  
まで高森峠バイパ  
ス工事は、昨年暮れ全体の約七〇  
％が開通するに至りました。

いよいよ飛躍の昭和五十九年の  
新春を迎えたわけですが、内外を  
取り巻く諸情勢は非常に激しいも  
のがあります。

特に政府における歳入欠陥に伴  
う財政状況の厳しさは予想以上の  
ものがあります。自主財源に乏し  
い本町も交付税に依存するところ  
が大きいわけですが、新年度はこ  
れの歳入が大きく落ち込み、五十  
八年度以下のベースになるものと

子想されます。このような状況を  
考えますと、今後自主的な事業に  
取り組むことは非常に困難なこと  
になると思われますが、私は時代  
の動きを的確に把握し、少ない財  
源で最も効果の上る事業を町民の  
皆様との対話により実施してゆく  
所存であります。

さらにまた、本町にとって重大  
かつ緊急な課題として、国鉄高森  
線の存置対策や高森地区の水資源  
対策などがありますが、皆様の英  
知を集め、勇断をもって解決に取  
り組む覚悟でございます。

## 英知集めて問題解決

高森町議会議長 山村英男



民の皆様のご健康  
とご繁栄を心から  
お祝い申し上げます。

ろでございます。

昨年を振り返ってみますと、二  
月の県知事選挙を皮切りに、選挙  
に始まり選挙に終わった一年であ  
り、行政の核の入れ替えの時期で  
あったやに見受けました。

ど、積み残された  
大きな問題に対応  
が迫られておりま  
すことは、ご存じ  
のとおりござい  
ます。これらの問  
題解決のために全議員一致団結  
し、また、執行部と一丸となり最  
善の努力をいたす覚悟でございま  
すが、それにはまず何よりも町民  
の皆様のご理解とご協力が必要で  
ございます。

国におきましては、財政再建を  
唱え、行財政改革の名のもとに、  
地方自治体に対し、いろいろな諦  
め付けを行っており、自治体の行  
政運営にも大きな影響を及ぼ  
し、深刻化の様相を深めてくるこ  
とは必至でございます。教育文化  
の充実、生活環境の整備、農・商  
業の振興など、私ども議会といた  
しまして、議決機関としての機能  
を十分發揮しながら、英知を結  
集し、その要請に公正適切におこ  
たえなければならぬと決意を  
新たにしているところでございま  
す。

明けてもうござい  
ます。昭和五十  
九年の新春を迎  
えるにあたり、  
町議会を代表し  
たしまして、町

顧みますと、昨年四月の統一選  
挙で新議会が発足し、はからずも  
私が議員諸氏のご推挙により、議  
長の要職につきましましたが、駄馬に  
むち打ちながら議会の使命を認識  
し、その運営に努力していること

本町におきましては、大きな災  
害もなく、平穏な一年でもありま  
した。しかし、国鉄高森線存続問  
題、市街地の水資源対策、開田な

どうか本年も町議会に対するご  
協力とご指導を賜りますようお願い  
いたしますとともに、皆様の  
ご健康とご多幸を祈念して新年の  
ごあいさつといたします。

## 製造中止の製品でも 部品は保存されています

### 電気製品の修理

テレビが映らなくな  
った。掃除機が動か  
なくなった。もう「寿  
命」かとお  
きらめる前  
に、プラグ、コー  
ド、スイッチ  
などを点  
検し、説明  
書をよく読  
んで故障か  
どうかを確  
かめてくだ  
さい。

#### 修理を依頼するとき

電気製品は、製造が打ち切られ  
た後も、補修用部品が一定期間保  
存されています。修理を依頼する  
時には、商品の種類、型式番号、  
購入時期、故障の状態、使用年数、  
故障歴を伝えます。その時に、料  
金を見積もってもらいます。修理  
後は、修理内容と請求金額の明  
細、領収書を必ず受け取り保管し  
ておきましょう。次回の修理のと

き参考になることがあります。

#### 修理料金

修理料金は、部品代+技術料+  
出張費です。保証期間内でも出張  
費を請求されることがあります。か  
ら、事前に問い合わせをして小型  
のもの、持ち込み修理のほうが  
経済的です。

#### 部品の最低保有期間

- 九年 電気冷蔵庫、エアコン
- 八年 白黒テレビ、カラーテレ  
ビ、ステレオ、扇風機、電気井戸  
ポンプ、冷水器、冷風扇（水冷式  
クーラー）、電子レンジ
- 六年 換気扇、電子ジャー、電

## 高森百景

〈25〉

### 御成山

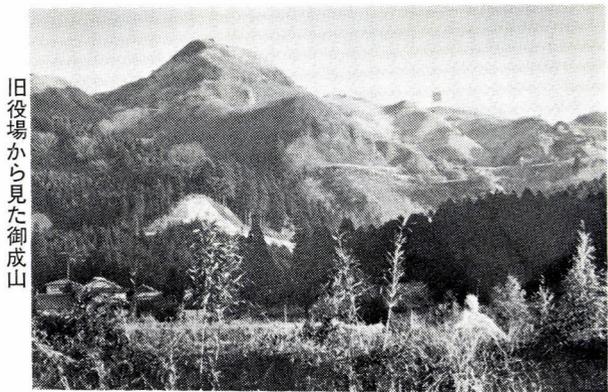
昭和五十九年の初日が気は  
つらつとして御成山から昇りま  
す。山東地区の人びとは、この  
神々しい姿を祖母山に拝むこと  
でしょう。新しい年の新しい生  
活がこの時から始まり  
ます。朝の冷気と、太  
陽の光に身も心も洗  
い清められ、新たな感激と力の躍  
動を禁じえません。多くの人が  
夜をこめてこの山に登り、ごら  
い光に浴してこの感激にひたる  
のです。

## 景行天皇のお成りの地

野口雨情の高森小唄の一節に  
「阿蘇の高森南郷の都、五岳見  
るなら御成山」、山口白陽の山  
引音頭には「御成山から遠目に  
見れば主の姿の程のよき」、ま  
た高森音頭にも「舞えよ踊れよ  
拍子そろえて月も見ている御成  
山」と歌われ親月のかっこうの  
場所となっております。

熊本へ、マイクローウエ  
ーブ方式は、清水峠中  
継所を経て矢部局から  
熊本へのルートと、高  
森峠反射板を利用して  
峰の宿中継所、波野村  
長畑中継所、一の宮局  
を経て熊本へのルート  
があり、どのような事

最近この山頂近くに巨大なつ  
いたてのようなものが建てられ  
ていますが、これは電々公社の  
マイクローウエーブ（無線）の反射  
板で、鏡の原理を応用した電波  
の中継装置です。市外電話回線  
は、有線、無線の二つ  
の方法と、二つ以上の  
ルートを設定して「い  
つでも、どこへでも、  
すぐに」通話できるよ  
う工夫されています。  
ケーブル方式は直接



旧役場から見た御成山

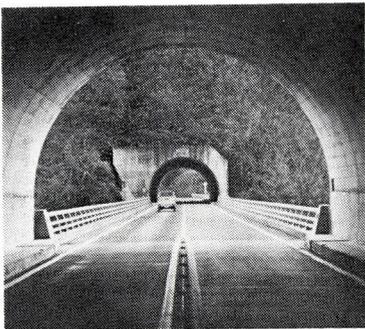
#### 係からお願い

「広報たかもり」に対する意  
見、提言、こうしたらよいのに、  
というようなアイデアをお寄せく  
ださい。また、身近かな出来事や  
話題も企画課広報統計係までお知  
らせください。取材に伺います。

〈内田秀憲〉



緩かな坂道ドライブウェイに生まれ変わった高森峠



高森峠は蘇陽町、宮崎県延岡市へ通じる交通の要衝ですが、道路幅が狭く、ヘアピンカーブの連続、急

国道二六五・三二五号線の高森峠バイパスが一部完成し、このほど開通しました。

八ヶ岳で、一の宮土木事務所が四十七年から進めている改良工事の一部。五十二年に着工し、七年の歳月をかけて完成しました。総工費は二十六億九千八百万円。

### 延長2.8キロ 所要時間は半分に

## 高森峠バイパス一部開通

こう配で運転者泣かせの難所でした。バイパスは旧道から北側に大きく迂回するコースで、カーブ箇所を少なくするために、途中、トンネル七本、高さ二百三十メートル、長さ九十四メートルの高森大橋などの橋二

### 焼酎工場建設を計画

阿蘇広域経済活性化対策推進で

高森町など郡内町村で組織する阿蘇広域圏事務組合は、このほど国から地域経済活性化対策推進地域として指定を受けた。

この「地域経済活性化対策」とは民間活動導入などにより地域経済の活性化を推進するもので、指定を受けた地域に対して国が地方債の発行枠の拡大や特



別交付税の増額などの財政援助措置を講じて事業推進へテコ入れをすることになっていきます。県内で指定を受けたのは阿蘇広域町村圏と八代広域市町村圏だけ。

阿蘇地域はバレイシヨやトウモロコシを原料とした焼酎工場

本が建設されています。旧道に比べ、距離は少し長くなりましたが、急カーブがなくなり、幅員も七・五メートルの二車線、さらに道路こう配も平均六％と緩やかになって、所要時間は今までの半分以上の約四分になりました。

タコあげは電線のないところで

電線の近くでは、タコを絶対あげないようにお子様へご注意下さい。毎年九州では、約二、〇〇〇個ものタコが電線にひっかかっています。もしタコが電線にかかったら、危険ですから自分ですら、九電大津営業所へご連絡下さい。

# お知らせのページ

## シンボルマークと標語を募集

全国植樹祭で

熊本県と、国土緑化推進委員会では、六十年五月阿蘇で開かれる第三十六回全国植樹祭のシンボルマークと標語を募集しています。

募集内容 開催方針の趣旨にふさわしい図案・標語で自作未発表のもの

応募資格 県内に居住する人

◎シンボルマーク

要領 ▽B4の画用紙かケント紙を二つ折りにし、左側にシンボルマーク、右側に図案の説明、住所、氏名、職業(学校名、学年)を明記、▽色彩は自由で応募は一人一点とします。

締切り 一月三十一日(当日消印有効)

発表 二月末

賞 入賞一点(賞状及び副賞十万円) 佳作二点(賞状及び副賞一万円)

◎標語

要領 官製ハガキに標語、住所、氏名、職業(学校名、学年)を明記して郵送してください。

締切り 一月三十一日(当日消印有効)

### 今月の支払日 25日(木)

町役場の支払日は、事務整理の都合上、勝手ながら五のつく日に定めています。ただし、当日が土・日・祭日にあたる場合は翌平日になります。支払時間は午前九時から午後三時まで。

印有効)

発表 二月末

賞 入賞五点(賞状及び賞金一万円)

※問い合わせ、作品の送り先は、熊本市水前寺六丁目八十一 熊本県全国植樹祭準備室

### 59年度学生募集

八代工業高専

国立八代工業高等専門学校では次のとおり五十九年度の学生を募集します。

募集人員 ▽機械電気工学科四十人 ▽情報電子工学科四十人 ▽土木建築工学科四十人

資格 中学校を卒業した者(五十九年卒業見込み者を含む)又は同等以上の学力を有する者

願書受付 二月一日から二月十日まで

日まで  
試験日 二月十九日  
合格発表 三月九日  
※詳しくは、☎8666 八代市平山新町2627 八代工業高等専門学校(☎0965(35)1611)までお問い合わせください。

### 訓練生募集

熊本総合高等訓練校  
熊本技能開発センター

熊本総合高等職業訓練校と熊本技能開発センターでは、次の要領で五十九年度の訓練生を募集しています。

◎普通訓練課程

募集人員 機械科二十人、板金科十五人、自動車整備科十五人、ブロック建築科二十人(原則として中学校新卒見込みの者に限る)

修業年限 二年

募集期間 一月六日から一月二十六日まで

選考科目 国語、数学、面接

選考日 二月六日

◎職業転換訓練課程  
募集人員 板金科十名 自動車整備科十人、電気機器科二十人、機械製図専攻科十人、塗装科二十

### 町内保育所 入所受付が始まる

町では五十九年度の町内保育所の入所申し込みを次のとおり受け付けます。

入所できる要件は、①母親が家庭内の仕事に従事しており、母親以上の人も保育ができない場合②家庭内の仕事でも、児童と離れてその仕事に従事している場合(ただし、父親がその仕事に従事し、使用人がいる場合は除かれます)③母親の死亡、行方不明、病氣、心身障害者があり、母親が看護に

あつてはいる家庭④災害で家屋を失ったり、破損のため復旧の間保育ができない家庭。

なお、病人の看病などで保育できない場合は、医師の診断書か地区民生委員の証明書を添付してください。申請書の受け付けは次の表のとおりですが、当日申請できない方は二月四日までに町民課福祉第二係に提出してください。申請書は、各保育所、福祉第二係、出張所に準備してあります。

#### 入所申込み受付日程

保育所名	受付日	受付場所	時間
色見保育所	1月23日	役場本庁	9時~13時
草部保育所	1月24日	役場草部出張所	9時~13時
草部北部保育所	1月25日	農協草部北部支所	9時~13時
野尻保育所	1月26日	役場野尻出張所	9時~13時
河原保育所	1月27日	農協河原支所	9時~13時
高森保育園	1月30日	役場本庁(村山、上在、上町、天神、旭通、昭和)	9時~15時
高森保育園	1月31日	津留冬野(下町、横町、色見)	9時~15時

人(公共職業安定所の入校指示を受けた人)

修業年限 一年

募集期間 二月一日から二月十九日まで

選考科目 職業能力選択テスト

ト、面接  
選考日 三月中旬頃

※詳しくは、菊池郡西合志町須屋二五〇五一三、熊本総合高等職業訓練校(☎09624(2)0391)にお問い合わせください。

# 新春座談会

## 私が考える

### これからの町づくり

昭和五十九年が明けました。昨年四月スタートした瀬井町政の「対話による行政」も着実に成長しつつあります。また住民の間に新しい自治への関心が高まってきました。昨年待望の国道三二五号高森峠バイパスの一部開通、町民総合グラウンドの建設が始まるなど、今後、高森町のいっそうの飛躍が期待される時でもあります。そこで新年にあたり、町内の青年代表四人にお集りいただき、町長とともに「私が考えるこれからの町づくり」と題し、自由な立場で語り合っていたできました。

五十八年度の歳入予算は、国の行財政改革のあおりを受けて、五十三年度とほぼ同じで、非常に厳しい状況にあります。しかし、こうした中であって、町の農林業関係の予算にはかなりのウェイトを置きました。

現在、本町は農業、林業、商業等の振興をはじめ、企業誘致、地域経済活性化事業、観光開発、中学校統合など多くの課題を抱えています。限られた財源で最大の効果を上げるべく全力を傾注しているところです。

——農業振興という点から、農産物の特産品について皆さんはどのようにお考えですか。

住吉 特産品は銘柄を取るのが第一です。まず名を売るといふこと。その点では「高森スイカ」がかなり貢献していると思います。大塚 そうですね。スイカといえば、鳥取、植木、高森というく

らいになっていますから。白石 久木野のトマトが榮んに出荷されていますが、これはマスコミを巧みに利用して成功した良い例です。もともとは高森がルーソだったと思うんですよ。

住吉 私がメロンの栽培を始めたとき十四戸だったのが、現在は二十戸が増えて安定しつつあります。個人で初めての作物をつくるというのは不安がありますし、特に今は不景気ですから、だれもが簡単に取り組めるとはいえません。

若い人の意欲は十分ですから、町の助成でもあれば安心して取り組むことができるのではないでしょう

瀬井町長 万一、失敗したときの補償といったのも必要になってくるでしょう。今後、積極的に検討しなければならぬと考えています。また、そうしなければ新しいものは生まれませんからね。

——今は国・県、町も農家もお金がないときです。すべてにおいて「掘り起し」が必要に

住吉 今の人はブランド指向がありますから、個性で売るしかありません。観光とタイアップした売り込みも一つの手だと思います。果実などはどうでしょうか。

大塚 果物や野菜を収穫前に予約を取って、都会の人に送っている町もあります。要は高森を売り込むことです。

渡辺 私は新しいものを見つけたらあるものの販路などを考えて、開拓していく必要もあると思います。つまり、「方向を見直す」ということです。

住吉 農産物を加工して売れば高く売れます。たかな漬を例にした場合調理法を普及して高森のイメージを作る方法もありますよ。

渡辺 ところで、話は変わりますが、高森峠バイパスが一部開通しましたですね。九十九曲がりの旧道はどうなるのでしょうか。

——あけておめでとうございます。五十九年の幕明けにあたって、みなさんの考える町づくりを希望を込めて語っていただきましたと思います。まず町長に町政の現状を。

瀬井町長 私は就任以来「町民との対話による行政」を進めています。高森町は農業を基盤とした町であり、農業振興については、収益が上がるよう計画を立てなければいけないと考えています。

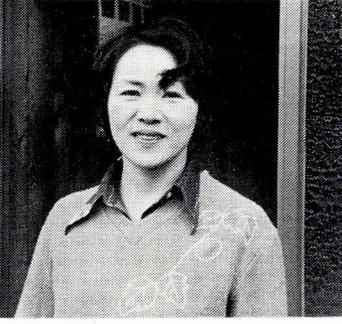
し開発を  
観光農業

出席者

高森町青年団体連絡協議会長	白石 博 昭 (27)	農業
高森町青年団長	渡辺 博 実 (26)	農業
高森町商工会青年部長	大塚 弘 倫 (32)	商業
高森町四日クラブ会長	住吉 栄 男 (23)	農業
高森町長	瀬井 浪 夫	
熊日高森支局長	森 永 有 三	

瀬井町長 町道として町が管理することにします。観光面で生かそうと考えています。構想としては駐車場、展望所をつくり、四季おりりの花木を植

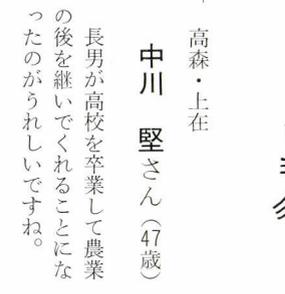
# 昭和59年 私たちは子



上色見・洗川  
本田美佐子さん(35歳)  
家族みんな元気で暮らすのがいちばん幸せなことです。



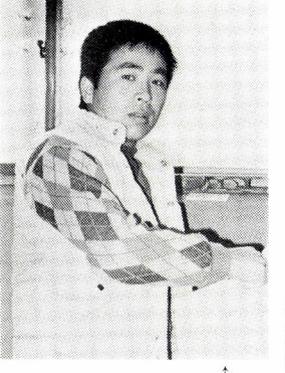
高森・横町  
佐伯ミカさん(71歳)↓  
一人暮らしですが、詩吟、三味線、民謡の習いごとをしていますので別に寂しいことはありません。



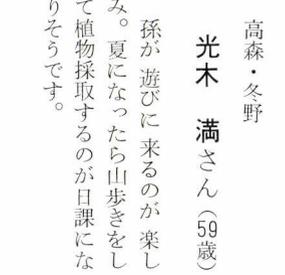
高森・上在  
中川 堅さん(47歳)  
長男が高校を卒業して農業の後を継いでくれることになったのがうれしいですね。



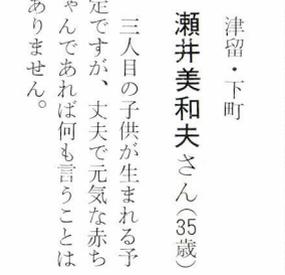
上色見・大村  
榎木野しほさん(23歳)  
女らしくきれいなになりたいです。そろそろ年ごろ、花婿さんを募集しています。



中・中村  
本田アキエさん(59歳)  
去年は野菜の出来が悪くて質の良いおいしい野菜をたくさん出荷したいですね。



高森・冬野  
光木 満さん(59歳)  
孫が遊びに来るのが楽しみ。夏になったら山歩きをして植物採取するのが日課になりそうです。



津留・下町  
瀬井美和夫さん(35歳)  
三人目の子供が生まれる予定ですが、丈夫で元気な赤ちゃんであれば何も言うことはありません。



色見・西丁  
山室 深さん(83歳)  
元気です。まだまだ長生きしますよ。

- 12年前(47年)の高森はこうでした
- 1月 村山の上村地区に簡易水道が完成。
  - 4月 南外輪山遊歩道が完成。
  - 5月 国道265、325号線高森峠バイパスのルートが決定。
  - 10月 野尻小学校のプールが完成。高森高校にナイター設備が完成。
  - 12月 消防団第8分団1部に消防ポンプ自動車を配備。

えて、九州自然歩道と結びつけた園地にする考えです。

**渡辺** 私は刈り干し運搬などでよく高森峠を通るので、千本桜の開花期は実がいいですね。夜間照明の設備でもあれば、なおいっそうすばらしいと思います。桜をもっと植えるとともに、公衆便所、駐車場のことも考えてください。

**瀬井町長** 高森峠は、将来絶好の観光地となりうる素質を持っています。それだけに、公衆便所、駐車場のことは、早急に解決しなければならぬ問題だと思っています。

**大塚** 高森は熊本などの平地部に比べ桜の開花期が遅れますから、「高森線に乗って高森峠の夜桜見物」などの企画はおもしろいと思います。

**瀬井町長** 将来は名実ともに桜の名所といえる観光地に育てますよ。

**白石 町花・町木選定** のとき、町木では「ヤマザクラ」が「ナンゴウジ」と最後まで競り合いましたが、結局、千本桜のイメージを打ち出そうと、意見がまとまっていきさつがあります。それだけに高森峠は町民の総意で選ばな観光地にしたいものです。

**大塚** 本町には高森峠と休暇村の二つの観光目玉があるのですから、これらを利用した滞在型の観光地づくりを考えてみてはどうで



しょう。

例えば、牛、ヤギ、ウサギなどありふれた動物を園地に放し飼いで、動物にふれることができる自然公園などはどうでしょう。

**瀬井町長** 自然を生かした高森町をどうPRするかということが大切なことです。観光開発は行政

# 自然生か 期待高まる

サイドだけに、住民と行政が一体となって、取り組むべき課題になってきました。

——観光地づくりに役立てるための土産品コンクール

や、アイデア募集といった計画は。

**瀬井町長** 本町には、名物料理として「高森田楽」が観光客にうけていますが、土産品は残念ながら自慢できるものがありません。現在、観光を含めて町の振興計画の原案を作成中です。できたら

動を計画してはどうでしょう

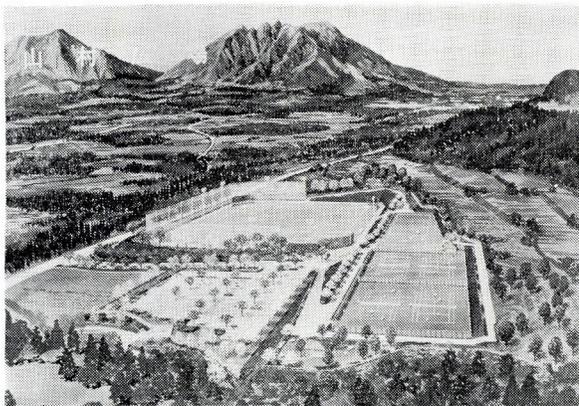
プロジェクトチームを作り、その声を反映させたいと考えています。

**大塚 町民** からのアイデアを引出すために、ぜひ必要だと思えます。

**白石 総合** ラウンドの建設をきっかけに、各校区が一つに集まる大運動会を計画してはどうでしょう

**瀬井町長** 総合グラウンドは今年の十月には使用できるよう工事を急いでいます。四・六畝の土地に、ソフトボール四面とテニスコート、ゲートボールコート、それに駐車場も広く併設することになっています。完成すれば県下でも数少ないりっぱな総合グラウンドになるでしょう。提案の町民大運動会は全町民融和の目的からぜひ実現したいですね。

**大塚** 高森地区の何区かがそれぞれ独自に運動会を実施していますが、地域交流の場として重要な役割を果たしています。その点からもぜひ実現してほしいと思いま



町民総合グラウンドの完成予想図

——農業問題を皮切りに活発な町づくりの意見が出ていますが、紙面の都合上、この辺で本日の座談会を終らせていただきます。

**瀬井町長** 私達も皆さんのご意見や構想をできるだけ町政に取り入れ、よりよい町づくりを目指したいと思えます。

・本日はどうもありがとうございました。

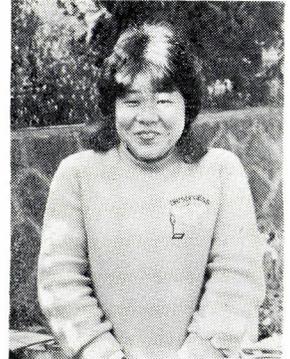
今年は十二支の「一番手」ネズミの年です。なぜネズミが十二支のトップ・バッターなのか。これは昔、中国で時刻や方向を表すのに用いた子(し)、丑(ちゆう)、寅(いん)：の十二の方向にそれぞれ動物を当てはめたことによるものです。

今月は新春企画として、町内にお住まいの子(ね)年生まれの十五人の方に昭和五十九年の抱負を語っていただきました。



高森・下町  
色見哲一君(11歳)

四月には六年生になります。みんなが学校での生活が楽しくなるように児童会の活動をがんばりたい。



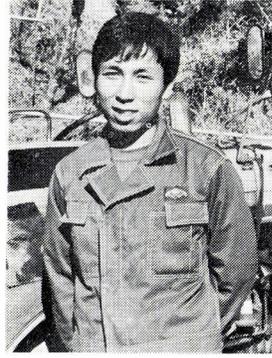
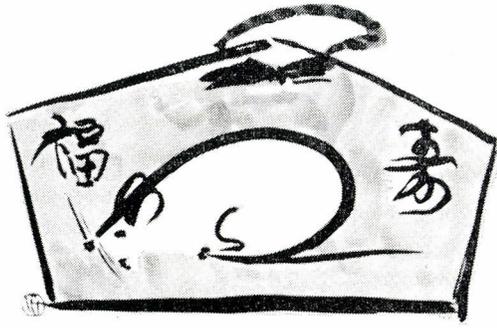
河原・市野尾  
白石 浩さん(23歳)

あい変わらず不景気の農業経営をどう乗り切るかが最大の目標。ぼちぼちお嫁さんの話しがでそうです。

草部・宮原  
芹口智代さん(23歳)

今年こそ子供達と一緒に遊んでやれるような小学校の先生になりたいと思っています。

# 一口インタビュー (ね)年生まれ



永野原・幸子  
工藤進二さん(35歳)

農産物の輸入自由化など農家にとってますます厳しくなりそう。もうかる農業を考えなくては。



津留・下町  
野尻美穂さん(47歳)

体力づくりにいろいろなスポーツに挑戦しながら、中身のある充実した一年にしたいと思っています。



高森・上町  
松崎 優さん(35歳)

待望の男の子が生まれました。今年を人生の節目として、自分のためにも家族のためにも心を新たにがんばります。



高森 旭通  
岩下真智子さん(23歳)

看護婦をしています。人生を多く経験した人たちをお世話する中から、私の生き方を学びたい。

